

本当の元気

2009/11/22

2コリント12:7～10

また、あの啓示された事があまりにもすばらしいからです。それで、そのために思い上がることのないようにと、わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。この使いについて、離れ去らせてくださるように、わたしは三度主に願いました。

すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

パウロに与えられた「とげ」

- 誰も体験したことのない素晴らしい体験
 - 「樂園にまで引き上げられ、人が口にするのを許されない、言い表しえない言葉を耳にした」
- パウロの身に与えられた「とげ」
 - 「思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使い」
- とげが離れ去るように3度願ったパウロ
 - イエス様がゲツセマネで3度祈られたように

与えられた啓示

- 「わたしの恵みはあなたに十分である。」
 - “私の恵みこそがあなたを強め続ける”
 - “私の恵み以外にあなたに必要な物はない”
- 「力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」
 - キリストの力は私たちの弱さの中で現される
 - 「十分に発揮される」は「完全になる」の意
 - 私たちが元気を失ったときこそ、キリストの元気が力を発揮する

弱さを誇る

- キリストの力が宿るように
 - 自分の弱さの中にキリストの力が宿る
- そのために自分の弱さを喜んで誇る
 - 弱さを隠したり、恥ずかしがったりせず、「むしろ」大いに喜んで自慢する
- 「弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています」
 - 行き詰まったときこそキリストの出番！

元気がない時こそ元気

- 「わたしは弱いときこそ(キリストによって)強いから」
 - 「弱いときこそ」: 自分の元気がなくなった時こそ
 - 「強い」: キリストの元気が満ちあふれる
- 私たちの元気がなくなったときにこそ, 本当の元気が何か分かるのである
 - 実は, 元気は自分で生み出しているのではない
 - すべての元気は神に与えられているが, 元気なときにはそれに気が付かない

- 愛せないと感じたときこそ、神の愛の偉大さに気づき、愛されていることを知る
- 自分の考えではどうしようもなくなったときこそ、キリストの知恵を求める
- 健康でなくなったとき、神に生かされていることが分かる
- 自分の元気がなくなったときこそ、キリストの元気が満ちてくる

「それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、
窮乏、迫害、そして行き詰まり
の状態にあっても、キリストの
ために満足しています。

なぜなら、わたしは元気がな
いときにこそ（キリストによって）
元気だからです。」